

第35回 どっちゃん祭り 『市民センター』の屋内外で初開催

どっちゃん祭りは、平成2年の第1回開催以来、浜町交差点周辺を中心市街地や伊万里川河畔をメイン会場として開催されてきましたが、今回は、駐車場やトイレ、授乳室などの設備が充実した『市民センター』を使用し、初めて開催されました。

市民センターには、お祭り広場や駐車場などの広い屋外スペースがあり、屋内には大小の会議室や改修を終えた文化ホールがあります。会場では、祭りのメインとなる伝統の女みこしをはじめ、物産展や音楽ライブ、ステージイベント、シール作りなどのワークショップ、ダンスイベントなど、施設の内外でさまざまな催しが繰り広げられました。当日は延べ2万人が来場し、会場は多くの来場者の笑顔と熱気に包まれました。



「どっちゃん行こうか」の言葉どおり、会場のあちこちでさまざまな催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました

佐賀バルナーズが市を表敬訪問 来シーズンへ向け決意新たに

市役所で、株式会社佐賀バルナーズによる表敬訪問が行われました。これは、市と連携協定を締結している同社が、2025-26シーズン終了の報告を行うため訪れたものです。この日は、代表取締役社長の田畠寿太郎さんと、国内最高峰のバスケットリーグ『B.LEAGUE』で佐賀バルナーズの選手として活躍している橋本晃佑さん、阿部諒さんが訪れ、シーズンを振り返るとともに、今後の活動への思いなどを語りました。



シーズン終了の報告に訪れた佐賀バルナーズの田畠代表取締役社長（左から3人目）と橋本選手（右端）、阿部選手（左端）

修学旅行生を農家民宿で受け入れ 農家民宿で伊万里の魅力を感じ

市民センターで、大阪から来た中学生を迎える『入村式』が開催されました。これは、市と市観光協会がグリーン・ツーリズム事業の一環として行ったもので、市単独で修学旅行生を受け入れるのは初めてです。この日、入村式を終えた49人の生徒は、市内12軒の受け入れ家庭へそれぞれ笑顔で出発しました。生徒たちは、農作業体験や伊万里産食材を使った料理作りなど、家業体験を含む農家民宿を通して、人との触れ合いや地域の魅力などを学びました。



修学旅行生は、ハート形の押し寿司作りなど工夫を凝らした体験をし、笑顔で受け入れ家庭の人たちとの交流を楽しんでいました